

JICA 東京が所管する民間連携事業の事例 (新潟県・長野県・群馬県・千葉県・埼玉県)

JICA 東京は関東周辺地域 5 県（新潟県、長野県、群馬県、千葉県、埼玉県）の企業の皆様の窓口となっております。開発途上国への事業展開にご関心のある企業の皆さま、是非お気軽にお問合せ下さい。

お問合せ先は、本ちらし表面下部の〈お問合せ先〉をご参照ください。

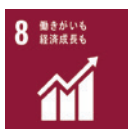
(注) なお、東京都の企業は JICA 本部（民間連携事業部）へお問合せ下さい。また、公示期間中の同公示回への応募に係るご相談は受けすることができませんので、公示前にお問合せ頂きますようお願い致します（次回以降の公示回への応募に係る相談は、可能です）。

新潟県

実施企業：ソリマチ株式会社

事業名：ベトナム国農協へのスマート農業導入に係る基礎調査

ケニア国では今後の経済成長を支える情報通信関連の人材が不足しており、政府としても基礎教育の段階からプログラミング教育を導入し、その人材育成に努めています。ところが、教育人材の不足やプログラミング教育に適した教材の欠如により、その課題の達成が困難になっています。そこで、キャストリア(株)は、自社で開発したプログラミング教育基盤、および教育者と学習者のための教育コンテンツや教材を提供することで、ケニアの教育関係者とともにこの問題を解決すべく2018年から活動しています。



群馬県

実施企業：株式会社キンセイ産業

事業名：タイ国次世代焼却炉による医療廃棄物適正処理普及・実証事業

タイ国では近年の急速な経済成長により、一般・産業・医療廃棄物が増加傾向にあり、その適正な処理が求められています。特に医療廃棄物については感染性の有害物質を含むために急務であるところ、技術者や費用の不足により適正な処理が困難でした。また、焼却炉を稼働する場合でもタイオキシン等への技術対応が不十分であったために環境汚染の拡大が懸念されてきました。このプロジェクトでは、チェンマイ大学医学部付属病院に乾溜ガス化焼却装置を設置し、医療廃棄物の適正処理を行うと共に、その効果を検証。今後のチェンマイ市の環境汚染緩和を目指します。

本事業では、ソリマチ(株)が開発する農協向け会計ソフト、及び農家向け生産履歴管理ソフトを現地の農協に利用してもらい、財務・生産履歴管理能力の強化を目指すとともに、ベトナムでのビジネス展開に必要な基礎情報の収集とビジネス展開計画の検討を行いました。



埼玉県

実施企業：株式会社メトラン

事業名：メキシコ国新生児人工呼吸管理改善にかかる案件化調査

メキシコ国では、新生児死亡率（中でも低出生児の呼吸不全での死亡率が高い）が高く、既存の新生児用人工呼吸器の老朽化、不適切な使用、保健人材の呼吸管理への知識・経験不足といった課題を抱えています。この調査では、日本の新生児医療の最新情報を現地医療関係者に伝え、日本の新生児治療室の9割以上に導入実績のある低出生体重・新生児用の人工呼吸器の周知に取り組みました。調査後、メキシコ全国の地域病院で同人工呼吸器32台の納入に至りました。今後も低出生体重児の治療に有効とされる高頻度振動換気人工呼吸器の普及を通じて、新生児死亡率の低減を目指します。



千葉県

実施企業：三立機械工業株式会社

事業名：インド国ワイヤーハーネスからの銅資源高度リサイクル普及・実証事業

インド国では近年の急速な経済成長により、廃棄自動車が増加しています。廃車から発生するワイヤーハーネス（配電線）は、現地で野焼きなどの不適切な処理により、環境問題を誘発しています。同社は当該実証事業で、提案製品である湿式ナゲットプラント（ワイヤーハーネスから高度に銅資源を分離するプラント）を現地の自動車研究センターに設置して実証し、ビジネス展開の事業性判断を行いました。

同社は、実証事業での人脈をもとに、インドでの銅資源高度リサイクルの発展のため尽力されています。



東京都

実施企業：株式会社メトラン

事業名：メキシコ国新生児人工呼吸管理改善にかかる案件化調査

メキシコ国では、新生児死亡率（中でも低出生児の呼吸不全での死亡率が高い）が高く、既存の新生児用人工呼吸器の老朽化、不適切な使用、保健人材の呼吸管理への知識・経験不足といった課題を抱えています。

この調査では、日本の新生児医療の最新情報を現地医療関係者に伝え、日本の新生児治療室の9割以上に導入実績のある低出生体重・新生児用の人工呼吸器の周知に取り組みました。

調査後、メキシコ全国の地域病院で同人工呼吸器32台の納入に至りました。今後も低出生体重児の治療に有効とされる高頻度振動換気人工呼吸器の普及を通じて、新生児死亡率の低減を目指します。

